

生後3か月の顔面・全身浸出症状を経て1歳10か月で小範囲の湿疹のみとなった幼児アトピーの経過 (2歳 幼児)

症例 ID：001-02-UM | 記録日：2005年2月15日

1. 診断・治療前経過

出生時から顔に赤い発疹があり、生後1～3か月にかけてかゆみと顔面症状が強くなりました。生後3か月には顔と体が赤くただれ、浸出液が出て、夜間に掻いて泣き続ける状態となりました。

小児科でステロイド外用薬を処方されましたが、家族は使用せず、松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児科でステロイド外用薬を処方されましたが、使用していません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	使用していません。
中止時期	処方後、使用せずに松本医院を受診しました。
来院前／後	来院前後とも使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
出生～生後3か月	症状拡大	顔面発疹が強くなり、全身の赤み、ただれ、浸出液がみられました。
生後3か月	治療開始	松本医院を受診し、漢方入浴と外用処置を開始しました。
治療翌日	初期変化	顔面の皮膚が硬くなり、浸出液が止まりました。
生後5～6か月	治療継続	広範囲の湿疹は残りましたが、浸出液はみられなくなりました。
生後6か月	改善期	顔と体の湿疹が大きく減り、皮膚が滑らかになりました。
生後7か月	一時的再燃	入浴を中断した後、顔面に赤い湿疹が再燃し、治療を再開しました。
生後1歳4か月	経過中	小範囲の湿疹を残しながら徐々に軽減しました。
生後1歳10か月	経過後	寒い時期も皮膚は整い、背中に1～2個のかゆみのない発疹が残る程度となりました。

4. ピーク時期

ピークは、生後3か月頃に顔と体が赤くただれ、浸出液で湿り、かゆみで夜間に泣き続けた時期です。

5. 困りごと

- ・強いかゆみと浸出液で夜間の睡眠が妨げられました。
- ・乳児の手を抑えるため手袋を固定し、家族の精神的負担が強くなりました。
- ・毎日複数回の漢方入浴と外用処置が必要でした。

6. 経過のまとめ

生後3か月の強い顔面・全身症状に対して治療を開始し、翌日から浸出液が減りました。季節性の再燃はありましたが、1歳10か月時には寒い時期も皮膚状態が整い、背中 of 小さな発疹のみとなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。